



The 8th Gelatin Silver Session 2015 - Save The Film – 開催のお知らせ

ゼラチンシルバーセッション実行委員会

February 23, 2015

Gelatin Silver Session – SAVE THE FILM -とは、

ゼラチンシルバーセッションは、銀塩写真でしか表現できない写真の楽しさ、面白さを広く知ってもらうことにより、銀塩写真技術や機材、フィルム、印画紙等を守り、次世代に繋げていくための、写真家によるプロジェクトです。

8回目となる今回は、34名の参加写真家が二人一組となり、それぞれが設定したテーマで作品を撮り下ろす他、米国からMichael Kenna氏を招いての特別展示や第2回 GSSフォトアワードを実施いたします。つきましては、貴媒体にてご紹介いただければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。

ゼラチンシルバーセッション実行委員会

Statement:

私たちは、経済効率や利便性を優先させたあまり、これまでに数多くの匠と呼ばれる職人の貴重な手仕事や人材を失ってきました。写真の世界でも同様に、便利で簡単に撮影できるデジタル化に伴い、長い間培われてきた、手間隙を掛けた撮影や暗室作業等の手仕事、技術、その周辺機材、人材が失われています。それは電気信号に置き換えられた画像ではなく、化学反応による銀塩写真にしか出せない独特の奥行きのある表現が失われることを意味します。音楽家が様々な楽器を奏で、多彩な表現ができるように、画家が筆や絵の具を使い分けられるように、私たち写真家も表現手段の選択肢として、フィルムや印画紙を次世代に残していきたいのです。

Gelatin Silver Session 2015 開催概要

会期：4月25日（土）～5月9日（土） 11時～19時 会期中無休

※5月5日は、トークイベントのため、16時で終了。

最終日は18時までの入場となります

入場料:300円（学生無料）

会場：アクシスギャラリー（東京都港区六本木5-17-1） TEL 03-5575-8655（会期中）

<http://www.axisinc.co.jp>

主催：ゼラチンシルバーセッション実行委員会

協賛（未定）：株式会社IMAGICA、株式会社IMAGICAウエスト、王子エフテックス株式会社、株式会社ニコン、
富士フイルムイメージングシステムズ株式会社、株式会社ライブアートブックス 他

協力：アクシスギャラリー、RAM Gallery Art Unlimited、株式会社フレームマン、コエドブルワリー 他

アートディレクション：古平正義（FLAME）

リーフレット：500部限定（価格未定 エディション入り）

* 展示作品は、販売する予定です。（一部、除外の作品もありますので、詳しくは、会場でお尋ねください）。

プレスに関するお問い合わせ：外山（とやま） 090-1537-8717 toyamaterunobu@icloud.com

佐野（アクシスギャラリー） 03-5575-8391 sano@axisinc.co.jp

Official web site <http://gss-film.com>

Facebook <https://www.facebook.com/GelatinSilverSession>

Twitter @GSS_news



参加写真家（組み合わせ）とテーマ：

- ・石塚元太良 × 水越 武 「雪、氷」
- ・市橋織江 × 瀧本幹也 「gradation」
- ・井津由美子 × 辻 佐織 「原風景」
- ・薄井一議 × 勝倉峻太 「写真 過ぎ行くものへの記録装置」
- ・Bruce Osborn × 蓮井幹生 「Sea-genic & Forest-genic」
- ・小林紀晴 × 村越としや 「見知らぬ故郷」
- ・小林伸一郎 × 中道 淳 「311 変わっていくこと、変わらずにいること」
- ・嶋田篤人 × 三好耕三 「BOSO」
- ・鋤田正義 × 宮原夢画 「ごっこ」
- ・瀬尾浩司 × 泊 昭雄 「きえるモノと、きえないモノ」
- ・百々 新 × 広川智基 「日々」
- ・百々俊二 × 広川泰士 「天地」
- ・中野正貴 × 本城直季 「お台場」
- ・中藤毅彦 × ハービー・山口（未定）
- ・西野壮平 × 若木信吾 「On Sunday」
- ・平間 至 × 森本美絵 「LOVE」
- ・藤井 保 × 渡邊博史 「平和憲法」

GSSフォトアワード

フィルムや印画紙にこだわった新しい作家と出会いたいという思いで2013年からスタートしたフォトアワードを今年度も開催いたします。今回参加の嶋田篤人さんは、第1回フォトアワードのグランプリ受賞者です。

グランプリの選出に関しては4月29日（水・祝）15時から公開審査を行います。

審査員：

小原真史（IZU PHOTO MUSEUM研究員）

小林紀晴（写真家）

村越としや（写真家）

吉野弘章（東京工芸大学 写真学科教授）

詳細は公式サイトにてご覧ください。



第1回GSSフォトアワードグランプリ受賞者 嶋田篤人の作品



会期中のイベント

●マイケル・ケンナ氏によるトーク

5月5日（火・祝）17時～ 800円（入場料+トーク参加料）



©Tsuyoshi KATO

●「Photo_Bar (仮)」オープン

会期中、展示終了前後から21時半頃まで（不定期、実施日と参加写真は、FBでご確認ください）
500円（ワンドリンク付き）

日頃接点が少なく、寡黙な写真家と飲みながらコミュニケーションを楽しむバーです。撮影秘話も聞けるかも！？

●サイレントオークション

収益の全額を東日本大震災で被害のあった地域への復興支援活動へ寄付いたします。
会期中、会場内で入札ください。（対象作品は、展示作品とは別になります）

Gelatin Silver Session これまでの活動

2006年 「フィルムに写す。印画紙にうつす。」

2007年 「Film を次の世代へ残すために 一時を経ても残るもの」

2008年 「SAVE THE FILM 時を経ても残るもの」

2009年 I LOVE FILM by LOMOGRAPHY

2010年 「SAVE THE FILM : 代表作 特別展示 : アンセル・アダムス

2011年 写真家による作品のチャリティー販売1、2

2012年 「SAVE THE FILM : ベストプリント」 特別展示 : 石元泰博

2013年 「SAVE THE FILM : 未発表」 特別展示 : 植田正治 第1回 GSS Photo Award

2014年 「KG+」 (「KYOTOGRAPHIEの一環」参加、「AXIS PHOTO MARCHE」GSSフォトアワード作品出展

上記の他にも高校生や大学生を対象にしたワークショップを行っています。



招聘作家について

Michael Kenna



©Tsuyoshi KATO

1953年、イギリス北部工業地帯ランカシャーに生まれる。ロンドン芸術学校で写真を学んだのち、76年に高等国家免状を取得。翌年より、サンフランシスコを拠点に写真家として活動を続け現在に至る。

独自の美意識による卓越したプリント・テクニックと仕上げが作品の“精神性”を裏付け、そのオリジナリティー、クオリティーの高さは世界中で高い評価を得ており、世界中で300回以上の個展が開催され、写真集も80冊以上出版されている。また、その作品はロンドンのビクトリア&アルバート美術館、パリの国立図書館、サンフランシスコ近代美術館などの40以上の美術館に所蔵されている。2000年にはフランス政府より、芸術文化勲章シェヴァリエ受賞。ケンナのフェイスブックページ“Michael Kenna Photography”は、2015年1月現在、35万人を超すファンを獲得。圧倒的な人気を示している。現在はシアトル在住。

<https://www.michaelkenna.com>

(協力：RAM Gallery Art Unlimited)



Freezing Morning, Kussharo Lake, Hokkaido, Japan. 2014 ©Michael Kenna



Sandjeika Beach, Odessa, Ukraine. 2013 ©Michael Kenna